

## プログラム

### 子宮頸がん予防に関する国際シンポジウム 「Women Against Cervical Cancer in Japan」

2014年6月20日(金) 14時00分～19時00分

会場:ベルサール八重洲 Room D・E

- 【主催】 「WACC in Japan」実行委員会
- 【共催】 公益社団法人日本産科婦人科学会・公益社団法人日本産婦人科医会  
公益社団法人日本婦人科腫瘍学会・子宮頸がん征圧をめざす専門家会議
- 【後援】 公益社団法人日本医師会・公益社団法人日本看護協会・公益社団法人日本小児科学会・一般社団法人日本小児科医会・日本癌学会・一般社団法人日本婦人科がん検診学会・公益社団法人日本女医会・国連人口基金東京事務所・NPO法人キャンサーネットジャパン・一般社団法人がん哲学外来・市民のためのがん治療の会・NPO法人広島がんサポート・一般社団法人 Plus Action for Children・一般社団法人ピーキャフ・PCAF・NPO法人子宮頸がんを考える市民の会・一般社団法人リボンムーブメント・一般社団法人Stand for mothers・一般社団法人シンクパール・NPO法人ラサーナ・よつばの会・らんきゅう\*卵宮・認定NPO法人乳房健康研究会・NPO法人奈良ピンクリボンアピール・NPO法人乳がん患者友の会きらら・ねむの会・特定非営利活動法人あおもり男女共同参画をすすめる会・ピンクリボンin SAPPORO・ピンクリボンえひめ協議会・NPO法人女性医療ネットワーク・性と健康を考える女性専門家の会

開会挨拶 高久 史磨 (日本医学会 会長)  
今村 定臣 (公益社団法人日本医師会 常任理事) ※ メッセージ代読

#### **Part 1 (14:10 - 15:30)**

座長: 宮城 悦子 (横浜市立大学医学部がん総合医科学 教授)

基調講演 「子宮頸がん予防の重要性 ～命を救い、家族を守る～」

小西 郁生 (公益社団法人日本産科婦人科学会 理事長)

「慢性疼痛とは何か——その原因と治療法について」

三木 健司 (尼崎中央病院 整形外科部長)

「世界における HPV 感染と HPV 関連がんの疫学・公衆衛生」

ザビエル・ボッシュ (スペイン・カタルーニャがん研究所 がん疫学研究プログラム部長、世界保健機関理事)

「日本の HPV 感染と子宮頸がんの疫学および子宮頸がん検診と HPV ワクチンの受容性」

シャロン・ハンリー (北海道大学医学研究科総合女性医療システム学講座 特任助教)

「オーストラリアにおける HPV ワクチン政策と推奨その評価」

ジュリア・ブラザートン (オーストラリア国立 HPV ワクチンプログラムレジスタ部長)

#### **休憩 (16:30 - 16:40)**

## **Part 2 (16: 40 - 18: 20)**

座長： 今野 良（自治医科大学附属さいたま医療センター 産婦人科教授）

「子宮頸がんが及ぼす患者と家族の悲しみ」

阿南 里恵 ・ 米山 大志

「子宮頸がん治療の悲惨さと私たちの苦悩」

近藤 一成（NTT 東日本関東病院 産婦人科医長）

「HPV ワクチンの効果と安全性—世界に広がるインパクト」

ザビエル・ボッシュ（スペイン・カタルーニャがん研究所 がん疫学研究プログラム部長、世界保健機関理事）

「HPV ワクチンの接種率向上をめざして—接種差し控え前に高い接種率を達成した栃木県事例を中心に—」

鈴木 光明（自治医科大学産科婦人科講座主任教授、公益社団法人日本産婦人科医会 常務理事）

「HPV ワクチン接種の安全性：厚労省データの解析」

松本 光司（筑波大学医学医療系産科婦人科学 准教授）

## **パネルディスカッション (18: 20 – 18: 50)**

「誤解を超えて、命と家族を守る—私たちの悲鳴と願い」

今野 良 ・ 宮城 悦子 ・ ザビエル・ボッシュ

指定発言：患者団体 ・ 啓発団体 ・ 三原じゅん子（参議院議員）

閉会挨拶 野田 起一郎（近畿大学 前学長）

\* プログラム内容や順番は、演者のご都合で変更することがございます。ご了承ください。